

平成28年度 理事会・通常総会開催



平成28年度 理事会



平成28年度 通常総会

2016年（平成28年）8月5日（金）ANAクラウンプラザホテル長崎グラバーヒルに於いて長崎日米協会の平成28年度理事会及び通常総会を開催いたしました。

通常総会には約30名の会員が出席され、総会の冒頭で宮協会長が「今年度も日米両国が互いに良きパートナーとして相互信頼が深まるよう、在福岡米国領事館と連携して日米親善に貢献できる事業を実施していきたい。」と挨拶されました。その後、平成27年度決算報告と事業報告、平成28年度事業計画等の各議案の審議が行われ、各々承認されました。

講演会開催

2016年（平28年）8月5日（金）長崎日米協会の総会終了後に長崎県文化観光国際部国際課国際交流員ウィリアム・モーガン氏に「バージニア州の紹介」と題し、ご講演いただきました。モーガン氏の故郷であるバージニア州は、歴代大統領に同州出身者が多いことから「大統領のお母さん」と呼ばれていることや、バージニア大学の敷地が世界遺産に認定されているということなど、同州の誇りとするものを詳しく説明していただきました。

また、バージニア州は95%が森林や農地で都市部は5%に過ぎない自然豊かなところであり、そのような環境のなかで、銃が護身用だけでなくハンティングや射的、収集と幅広い目的で所持されていることなど、長崎との自然と文化の違いにも触れた、たいへん興味深いお話でした。



講師のウィリアム・モーガン氏

## SPSCC理事カレン・ステルソンさん「SACHIKO」出版

2017年（平成29年）1月6日、ジョアン・ブラッチリー会長を団長として、セントポール・長崎姉妹都市委員会一行8名が宮協会長を表敬訪問されました。同委員会の理事であり、児童文学作家であるカレン・ステルソンさんが書かれた『「SACHIKO」～ある原爆被爆者生存者のものがたり～』の出版報告が来崎の目的です。

「SACHIKO」は長崎市の被爆者安井幸子さんの半生を5年間かけて取材され、原爆の悲惨さと平和の尊さを米国の子供たちに伝えるために英語で書き下ろしたもので「2016年全米図書賞」にノミネートされるなど米国で反響をよんだノンフィクション作品です。ステルソンさんは「米国では原爆の被害については殆ど教えられておらず、今の米国にとってこのような本は必要とされているという点が評価されているのだろう。」と感想を語られました。



カレン・ステルソンさん



宮協会長を表敬訪問された一行



ラスカルと一緒に記念撮影

## 長崎大学とメトロポリタン州立大学（セントポール市）と学術交流協定提携

2017年（平成29年）2月、長崎大学とセントポール市のメトロポリタン大学との間で学術交流協定が締結されました。この協定締結は、2015年（平成27年）に実施された長崎セントポール姉妹都市締結60周年記念の相互訪問事業の中でセントポール市のクリス・コールマン市長一行が来崎された際に提案され、実現したものです。早速、本年6月に長崎大学側から2名の学生がメトロポリタン

州立大学へ短期留学し、8月にはメトロポリタン州立大学から3名の学生が長崎大学で環境関連の研究や勉学に励まれるとのことです。

長崎とセントポールとの姉妹都市交流は、委員会同士の交流の他にもテニス交流や交換留学生、三世四世会の日舞を通じた日本文化の交流など60年の間に培われた親善、友情の輪は確実に広まり、次世代へ継承されています。



長崎大学とメトロポリタン州立大学の方々

## 映画「Paper Lantern（灯籠流し）」上映会とトーク会開催



2016年（平成28年）在福岡米国領事館と共催して国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館に於いて映画「Paper Lantern（灯籠流し）」の上映会とプロデューサーとのトーク会を開催いたしました。

映画「Paper Lantern（灯籠流し）」は、2016年（平成28年）5月にオバマ大統領が広島訪問の折、感動的な対面をされた広島在住の歴史家森重明氏が広島原爆の犠牲となった12名の米兵捕虜の足跡を40年以上にわたって丹念に辿ってきたドキュメンタリー映画で、今回広島と長崎において上映されたものです。監督はバリー・フレシェット氏、プロデューサーはピーター・グリーンリー氏で今回の長崎上映会にはピーター・グリーンリー氏が参加されました。

広島原爆では12名の米兵捕虜も被爆死していますが、この事実は戦後長い間明かされていませんでした。自らも被爆者である森氏はこのことを知り、その後被爆米兵の足跡を追い続け、そして遺族へその情報を届けてきました。「一瞬にして敵味方区別なく、すべてを奪い尽くしてしまう原爆の悲惨さと平和の尊さを訴えたい。」ただその一念で長きに亘って続けて来られた森氏の地道な活動を映画は静かに伝えていました。

会場となった国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館には長崎日米協会会員の他、国際平和推進団体の皆様方約40名が参加されました。

上映に先立ちまして在福岡米国領事館のバネッサ・S・善治広報担当領事が挨拶をされ、プロデューサーのピーター・グリーンリー氏を紹介されました。ピーター・グリーンリー氏は1942年生まれで戦後間もない1947年来日、1959年までの少年期を日本で過ごされ、日本の“戦後”そして“復興”を目の当たりにされました。その後、早稲田大学、ハーバード大学で学ばれ、ニューヨーク日本協会やコロンビア大学ドナルド・キーン日本文化センター所長、ボストン日本協会理事長などを歴任、日米の相互理解と交流に務めて来られた方です。

映画視聴後、ピーター・グリーンリー氏とのトーク会を開催し、会場参加者とグリーンリー氏との間で「今、世界平和に向けて自分たちができること、今後日米両方に望むこと」など日米相互理解と交流について活発な意見交換がなされました。



在福岡米国領事館  
バネッサ・S・善治広報担当領事



トーク会の様子



プロデューサーの  
ピーター・グリーンリー氏



# United States Consulate Fukuoka Report

## 新首席領事及び新広報担当領事兼福岡アメリカン・センター館長の紹介



### 首席領事 Joy M. Sakurai

ジョイ・M・サクライ氏

#### 【略歴】

2016年8月、在福岡米国領事館の首席領事として着任。

サクライ氏は、福岡着任前、インドネシアのジャカルタに二度に渡り赴任、2010-2013年には東京の米国大使館で文化交流担当官補として勤務し、また、イスラマバードやワシントンD.C.でも勤務経験を有する。ワシントンでは、国務省情報調査局の当直士官や東アジア太平洋局のスタッフアシスタントとして勤務した。

サクライ氏は、ハワイ州ワヒアワ出身の日系アメリカ人である。レイクフォレスト大学で、国際関係学の学士号を取得後、フランスと日本での留学経験を持つ。国務省入省前に、沖縄県那覇市で県の国際交流員として2年間勤務した。夫も外交官であり、2人の子供がいる。インドネシア語、日本語、フランス語を話す。

#### 【略歴】

2016年8月、在福岡アメリカ領事館広報担当領事（兼福岡アメリカン・センター館長）として着任。福岡での在任期間は3年。外交官としての日本勤務は今回が2回目。

2004年に米国国務省に入省後、在エクアドル・アメリカ大使館（キト）政治担当官（2004-2006年）、在大阪・神戸アメリカ総領事館 領事部担当領事（2006-2008年）を歴任し、福岡着任前は在韓国アメリカ大使館（ソウル）で副報道官（2013-2016年）を務めた。ワシントンD.C.の国務省本省勤務（2009-2011年）もあり、ヨーロッパ諸国からの国務省人物交流プログラム（インターナショナル・ビジター・リーダーシップ・プログラム）を担当した。

ワシントンD.C.近くの北バージニアで育ち、ニューヨーク州のバード大学で歴史学を専攻した。大学卒業後に、東京で英語を2年間教えていた。メリーランド大学とナショナル ジオグラフィック チャンネルに勤めたこともある。

趣味は音楽と読書。既婚で家族は日本人の夫と2人の子供。外国語は日本語、韓国語、スペイン語を話す。ワシントンD.C.生まれ。



広報担当領事兼福岡アメリカン・センター館長

### Vanessa S. Zenji

バネッサ・S・善治氏



宮協会長とサクライ首席領事

2017年（平成29年）1月11日（水）ジョイ・M・サクライ首席領事が長崎日米協会宮協会長を表敬訪問されました。サクライ首席領事は着任後長崎県内の佐世保市、西海市、長崎市を訪問され、「長崎県の皆様方のおもてなしは素晴らしい。」と笑顔で感想を述べられました。

宮協会長は今後の観光振興による長崎の活性化について話をされました。



サクライ首席領事と善治広報担当領事のご家族

2016年（平成28年）9月29日（木）ソラリア西鉄ホテルにおいて、ジョイ・M・サクライ首席領事とバネッサ・S・善治広報担当領事兼福岡アメリカン・センター館長歓迎の「日米親善“秋のつどい”」が開催されました。

会場には福岡県知事小川洋氏の他、九州管内の日米親善団体の方々が大勢参加され、お二人の着任を歓迎いたしました。

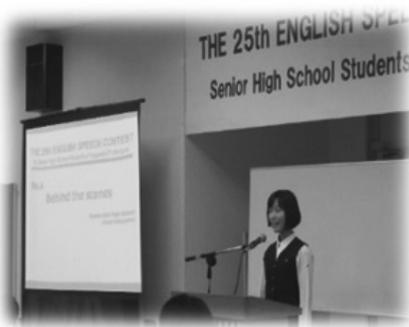
長崎日米協会からは安田事務局長が参加いたしました。

## 一般社団法人日米協会創立100周年

一般社団法人日米協会は1917年（大正6年）の創立で、本年創立100周年を迎えられました。日本で最も歴史と伝統のある日米民間団体です。創立当時の国際情勢は第一次世界大戦の直前であり、まさに激動の中の船出でした。その後米国との間に大きな戦争もありましたが、協会の交流事業は途絶えることなく、こんにちに至るまで1世紀にわたり継続してこられました。去る4月13日（木）に帝国ホテルに於いて執り行われた記念式典には両陛下のご臨席を賜り、他に総理夫妻や政財界のご要人の参列の下、総勢500名の方々が節目の年をお祝いしました。政治情勢や経済情勢を超えた民間交流の大切さをあらためて感じ取りました。



## 第25回 長崎県高等学校英語スピーチコンテストに後援



第1部で優勝された  
横山詩乃さん（佐世保北高校）

2016年（平成28年）10月8日（土）長崎県立大村高等学校に於いて、「第25回長崎県高等学校英語スピーチコンテスト」が開催されました。大会には、県内から第1部（海外滞在未経験者）に13名、第2部（海外滞在経験者）に3名の合計16名が参加され、身振り手振りを交えて熱弁を揮いました。

第1部では、佐世保北高等学校の横山詩乃さんが優勝され、2位に聖和女子学院の村上瑠南さん、3位に長崎北陽台高等学校の出口日向さんがそれぞれ入賞されました。第2部では諫早高等学校の佐藤花和さんが優勝されました。

## クリスマスパーティ 長崎日英協会と合同開催



挨拶をされる宮協会長



イニシャルペアゲームの様子



プレゼント抽選会の様子

2016年平成28年12月8日（木）ANAクラウンプラザホテル長崎グラバーヒルに於いて「長崎日米協会・長崎日英協会合同クリスマス夜会2016」を開催いたしました。今年で8回目となる本パーティには、在福岡米国領事館広報企画官宮内雅之氏をお招きし、両協会の会員の他長崎在住のALT（英語教師）、CIR（国際交流員）、留学生、英米関係者など過去最高の約150名の方々にご参加いただきました。今回は“Let's open our hearts and talk together!”をキャッチフレーズに掲げ、プレゼント抽選会の他に外国の方々と会員の方々がペアを組んで楽しむ「イニシャルペアゲーム」などを行いました。会場内ではジェスチャーを交えた片言の英語や日本語が飛び交い、終始和やかな雰囲気、一足早いクリスマスを楽しんでいただきました。

## こんにちは！ アンドリュー・ガリソンです！



### Andrew Garrison プロフィール

私はアメリカのテキサス州の出身です。  
大学はノーステキサス大学でした。大学で英語を専攻、副専攻は日本語でした。  
2016年（平成28年）7月25日から長崎市に住み、長崎鶴洋高校でALTとして働いています。趣味は、ジャズとクラシックを歌うことと、マンガを描くことです。

アンドリュー・ガリソンさん



### 長崎に住むこと

長崎に住んでいますが、よく県内で旅行をします。例えば、雲仙普賢岳にはずっと興味があり、よく遊びに行きます。他に行きたいところはハウステンボスや佐世保、伊王島です。特に、ハウステンボスに行ったことがないので本当に行ってみたいです。私の実家のあるテキサス市の人口は八十万ぐらいです。でも、テキサス市なので田舎になります。田舎育ちなので、私はそのような場所が好きです。都会に住みたいとは思っていますが、田舎を訪問することも好きです。そんな理由で、僕にとって長崎は完璧だと思います。

### 長崎への思い

私の基本的な思いは、日本に住めてよかったということです。中でも、特に長崎市で暮らすことが素晴らしいという思いを持っています。周りを見渡せばどこからでも大自然を見ることができるし、深い歴史と文化を学ぶこともできます。長崎こそ最も古今の日本を経験できると街だと思えます。私は長崎市に引っ越した時、アメリカ人としては最初に少し重い考えがありました。歴史では、原爆など様々な辛いことがあるのに、なぜ私のようなアメリカ人が自由に長崎に住めるのだろうかと思っていました。しかし、その謎は、長崎人と会い解決しました。もちろん、そんな辛いことを覚えていることは重要なことです。でも、それは怒りではなくて、平和のために覚えているのです。だから、日本とアメリカは仲間や味方として一緒に未来に向かっていけると思えます。私は長崎で会った友達と知人の優しさから学びました。

## 事務局より

### 会員募集中！

長崎日米協会では新規入会の会員を募集中です。会員の皆さま方の中ご紹介いただける方がいらっしゃいましたら是非ともご入会をお奨めいただきますようよろしくお願いいたします。

会費	個人会員	年会費	2,000円
	法人会員	年会費	10,000円(1口3名まで)

### 編集後記

○本年8月に「大分日米協会」が設立されることとなりました。全国で31番目、九州沖縄地区で8番目の日米協会です。大分市はテキサス州オースティン市と姉妹都市関係にあり、また前在福岡米国領事館のユリー・フェッジキフ首席領事が国際交流員としても過ごされたところで、予てより日米協会の設立が提案されていました。今後大分日米協会様とも連携をとって日米親善交流に努めたいと思います。

### 長崎日米協会事務局

〒850-8618 長崎市銅座町1番11号 十八銀行本店  
TEL 095-828-8859 FAX 095-821-0214 〈事務局：安田・高橋・島田〉